

令和2年度	
氏名	たはら よしあき 田原 義昭
生年月日	昭和24年生
住所	石川県鳳珠郡能登町
品目	ブルーベリー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーベリーは北米原産の寒冷地向きで収穫が初夏のハイブッシュ系と暖地向きで収穫が夏から初秋のラビットアイ系があり、能登町は両方が栽培可能で北陸最大のブルーベリー産地</li> <li>・昭和58年に商工会の会長が新たな村おこしの材料を探す中で筑波大学からの情報を得て苗木を取り寄せ、農場を開設して栽培を開始</li> </ul>
技術	湿田地帯に対応可能な木材チップを使用した栽培方法を初めて確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成8年の国際ブルーベリー学会（米国）での現地視察からヒントを得て、道路建設での伐採根や端材のチップを施用して苗を植える手法を開発</li> <li>・木材チップの品質に関する使用管理基準を定め、湿田での敷厚は根腐れ防止のため70cm、畑地や開発農地では50cmとし、樹種は県内産の針葉樹とした</li> </ul>
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成元年から平成24年にかけて柳田村産業開発公社（後の能登町ふれあい公社）のモデル農場でブルーベリーの栽培指導・研究に従事</li> <li>・現在の経営規模は、ブルーベリー20a、ハウスでトマトとキュウリ5a、水田20a</li> </ul>
相談に応じられる分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーベリーの栽培全般に関すること</li> <li>・チップ栽培や水田転換圃での栽培に関する事項</li> <li>・接ぎ木や剪定指導に関する事項</li> </ul>
受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年 日本ブルーベリー協会の「ブルーベリー栽培士」に認定</li> <li>・平成27年 石川県「ふるさとの匠」認定、石川県農林水産業功労者表彰</li> <li>・令和2年 北陸農政局農政功績者表彰</li> </ul>
主な役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年～ 日本ブルーベリー協会理事</li> <li>・平成24年～ 石川県果樹園芸協会ブルーベリー部会長</li> <li>・平成24年～ やなぎだブルーベリー生産組合・副会長</li> </ul>
HP	

